

## 2 業務概要

## 2・1 微生物科

### 2・1・1 調査研究

昭和51年度から継続して行っている「ウイルス感染症の疫学調査」を、本年度も県下6小児医療機関(鳥取市、倉吉市、米子市各2機関)を定点とし、ウイルスの分離同定と、任意に抽出した血清を対象としてウイルス抗体価の測定を行った。

風疹の発生流行がみられた八頭郡C小学校の全児童425名のアンケート調査と、流行終息後350名の児童について、赤血球凝集抑制(HI)抗体価を測定し、血清疫学的な立場から流行の様相に関して考察をすすめている。また、同一血清について麻疹、インフルエンザ、パラインフルエンザ、ムンプスのHI抗体価もあわせて測定した。

「伝染病流行予測調査」として、厚生省委託事業の日本脳炎およびインフルエンザの感染源調査と、単県行政委託事業の風疹、麻疹、インフルエンザの感受性(HI抗体)調査を行った。

### 2・1・2 試験検査

行政委託検査としては、食中毒発生時の原因菌検査、湖沼・海域水の細菌およびプランクトン検査が主なものであるが、収去食品の細菌検査、水畜産物中の残留抗生物質検査も行った。窓口受託検査は、風疹のHI抗体検査が最も多くて4,107件、ついで梅毒血清検査の2,211件であり、その他ムンプス、インフルエンザなどの血清抗体検査、病原細菌の分離同定と薬剤感受性検査、飲料水・河川水・下排水などの細菌検査がある。

## 2・2 食品化学科

### 2・2・1 調査研究

昭和53年度から継続している「魚介類の有機塩素系農薬残留量実態調査」を昭和56年度も引き続き実施した。

### 2・2・2 試験検査

行政委託試験として、昭和55年度と同様に食品等の残留農薬試験、PCB及び水銀に関する試験、畜水産食品の合成抗菌剤試験並びに家庭用品試験を行った。そのほか、保健所及び一般からの受託試験として食品衛生理化学試験及び薬事試験を行った。

昭和56年度も、合成抗菌剤試験において豚肉1件からサルファ剤が検出された。しかし、その他の試験においては、基準値あるいは規制値を超過したものはなく、前年度と大きな変化は見られなかった。

## 2・3 水質調査科

### 2・3・1 調査研究

「湖沼の汚濁機構の調査」を東郷池で実施し、調査研究報文「東郷池の水質構造と水質の多変量解析について」（29頁）としてとりまとめた。東郷池に溯上した海水は、まず湖盆部に底層水として存在し、やがて水質の余り変らない上層水と下層水の2層になり、遂には単一層になるなど、湖水の水質構造の解明並びに主成分分析により、水質項目と富栄養化現象との関係が分った。

環境庁の委託事業として、湖山池について「昭和56年度湖沼水質管理指針策定調査」を行い、報告書としてとりまとめた。その概要を調査研究報文「湖山池の湖沼管理指針策定調査」（22頁）に記載した。湖沼水質の鉛直・水平分布の状況、プランクトンの種類と水質項目との関係、湖沼のCOD生産量、底泥からの静置・好気・嫌気条件でのN、Pの溶出状況などが分った。

### 2・3・2 試験検査

水質汚濁防止法第16条に基づき、公共用水域（湖山池、東郷池、多鯉池、中海及び美保湾）の水質常時監視を実施するとともに、千代川ほか13河川のPCB分析、日本海沿岸海域の健康項目、油分の分析を行った。このほか行政委託調査として、境港市竹内地区埋立事業に伴う美保湾の水質調査、松が谷湾水質汚濁調査、海水浴場生物調査、佐治川ダムと百谷ダムの水質調査を実施した。

窓口受託検査は企業局の佐治川、八東川、茗荷谷ダム、中津ダムの水質検査、その他一般企業などからの浚渫に伴う土砂の検査、湖沼水などの水質検査を実施した。

### 2・3・3 廃水処理施設管理

県東・中部地区の試験研究機関の有害物質を含む実験室廃水9,287ℓの処理を実施した。

## 2・4 水質環境科

### 2・4・1 調査研究

昨年に引続いて「鳥取砂丘観光地排水処理施設の排水調査」及び地方衛生研究所全国協議会の企画した「健康と飲料水中の無機成分に関する研究」に参加し、鳥取市及び米子市・境港市の上水道の無機成分と脳心血管疾患死亡率について調査した。

温泉関係では、県下温泉地の「温泉実態調査」及び代表源泉について「温泉の有害性金属等実態調査」（最終年度）を実施した。

### 2・4・2 試験検査

排水、産業廃棄物、飲料水、雑用水及び温泉について、行政委託検査と企業等一般依頼による受託検査を行った。

## 2・5 大気騒音科

### 2・5・1 調査研究

煙道排ガスの測定は昭和48年度から実施しているが、最近4年間(昭和53～56年)の調査結果を「煙道排ガス中の大気汚染物質の実態について」としてまとめた(58頁)。

「低周波空気振動調査」としては、種々の現象について、空気振動と音の周波数分析を実施している。これらの現象は短時間で変化するものが多く、実時間分析装置を所有していないので、一現象の分析に多くの時間を要し、測定数をあげることができなかった。

放射能測定調査結果は、「陸水・各種食品及び土壌の放射能測定調査報告書(24)」に収録・刊行した。

### 2・5・2 試験検査

大気汚染防止関連業務として、大気汚染監視局(衛研局)の運用、煙道排ガス測定および事業場の燃料重油中の硫黄分を分析した。

自動車公害調査は、鳥取市の街頭における一酸化炭素濃度の測定と、鳥取市、倉吉市、米子市および境港市における実態調査を実施した。

悪臭調査は、県の計画にもとづき、悪臭発生事業場の調査および地域指定にかかわる調査と、市町村の委託による検査を実施した。

## 2・6 研修指導

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
56・6・10	有機溶剤作業主任者技能講習会	宮田年彦科長	倉吉市
56・12・10	予防接種業務担当者研修会		鳥取市
〃	○風疹の流行と予防接種について	寺谷 巖科長	
〃	○感染症サーベイランス事業の概要について	石田 茂研究員	
56・12・7～19	県立歯科衛生士学院臨床検査実習	寺谷 巖科長	衛生研究所
56・12・11	水道管理者研修会	安田満夫科長	倉吉市
57・3・5	試験検査技術研修会	寺谷 巖科長	米子市
〃	特定化学物質取扱主任者技能講習会	宮田年彦科長	倉吉市

## 2・7 会議・研修会・学会参加

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
56・4・26	第6回山陰地区感染症懇話会集会		米子市
56・5・8～9	第35回地方衛生研究所全国協議会中国四国ブロック会議	瀧田親友朗所長 小林高明課長 寺谷 巖科長 浅井 篤科長 平野温馬科長	山口市
56・5・12～13	衛生微生物技術協議会	寺谷 巖科長	名古屋市
56・5・18	第16回放射線安全管理講習会	宮田年彦科長	大阪市
56・5・19～20	昭和56年度全国公害研協議会中国四国ブロック会議誌	瀧田親友朗所長 小林高明課長 安田満夫科長 宮田年彦科長	鳥取市
56・6・3	地方自治体公害試験研究機関等所長会議	瀧田親友朗所長	東京都
56・6・4	第49回日本感染症学会西日本地方会総会	石田 茂研究員	佐賀県
56・6・4	第10回全国公害研協議会総会	瀧田親友朗所長	東京都
56・6・15～16	昭和56年度全国地方衛生研究所長会議 昭和56年度地方衛生研究所全国協議会臨時総会	〃 〃 小林高明課長	〃 〃 〃
56・6・18	放射線安全管理講習会	宮田年彦科長	大阪市
56・6・26～27	地方衛生研究所試験担当者講習会	浅井 篤科長	東京都
56・6・30	第56年度放射能測定調査委託調査打合会	宮田年彦科長 浜田昭夫課長補佐	〃 〃
56・7・14	第24回鳥取県公衆衛生学会 ・智頭町における風疹の流行について ・昭和55年ウイルス感染症の定点観測について ・魚介類中の有機塩素系農薬残留量調査結果について ・中海の淡水化に伴う水質変化に関する一考察 ・大気汚染常時監視測定局における数値解析について ・イオウ化合物系悪臭物質のガスクロマトグラフ分析における測定法の検討	井上睦子研究員 石田 茂研究員 林田博通研究員 三田正之研究員 畦崎俊敬研究員 稲村正博研究員	鳥取市

期 日	名 称 ・ 課 題	担 当 者	場 所
56・9・2	第27回中国地区公衆衛生学会 ・ 中海の淡水化に伴う水質変化に関する一考察 ・ 昭和55年ウイルス感染症定点観測成績 ・ 大気汚染常時測定局におけるデータ解析について	三田正之研究員 石田 茂研究員 畦崎俊敬研究員	山 口 市
56・9・3	全国公害研協議会中国四国支部第8回水質部会	安田満夫科長	松 江 市
56・9・17～18	家庭用品安全対策行政担当係長会議	谷口富久子研究員	東 京 都
56・10・1～2	第18回全国衛生化学技術協議会年会	浅井 篤科長	新 潟 市
56・10・19～30	第4回環境放射線モニタリング技術課程研修	永美敏正研究員	千 葉 市
56・10・20～21	全国公害研協議会中国四国支部第8回大気部会	宮田年彦科長	高 松 市
56・10・27～28	第32回地方衛生研究所全国協議会総会及び次長 庶務課長会議	瀧田親友朗所長 小林高明課長	名 古 屋 市
56・10・28～30	日本公衆衛生学会	瀧田親友朗所長	〃
56・11・4～6	食品化学特殊技術講習会	林田博通研究員	東 京 都
56・11・14	衛生化学調査委員会中国四国部会総会	浅井 篤科長	徳 島 市
56・11・20	第48回日本感染症学会西日本地方会 ・ 山間集落における風疹流行(その2) ・ 鳥取県で流行した無菌性髄膜炎のウイルス検索	井上睦子研究員 石田 茂研究員	鳥 取 市
56・12・2	全国公害研協議会昭和56年度総会	瀧田親友朗所長	東 京 都
56・12・3～4	第8回環境保全、公害防止研究発表会	三田正之研究員	〃
56・12・8	第23回環境放射能調査研究成果発表会	永見敏正研究員	千 葉 市
57・2・16	環境測定分析統一精度管理調査結果検討ブロック 会議	宮原典正研究員	松 山 市
57・3・16～18	水質汚濁学会	油井磊輔研究員	東 京 都

鳥取県衛生研究所

2・8 依頼先別検査数調(56年度)

検査別 区分		検査項目											計				
		細菌検査	ウイルス検査	梅毒	寄生虫・原虫	食中毒	食品検査	水質検査	廃棄物検査	公害関係検査	放射能	温泉 泉質(鉱泉) 検査		家庭用品検査	薬品	栄養	その他
依頼先等区分	保健所	8	991	17		218	493		7	54		35				19	1,842
	自 行 な う の ら か の	10	991	23		1,026	2,399		37	56		55				243	4,840
行政機関	件数	18	5,594	135		10	29	64	2	8,841	640	273			48	15,654	
	項目	18	18,572	135		20	404	714	17	119,869	9,845	1,587			48	151,229	
医療施設	件数			75				53	3	231	2					364	
	項目			75				164	24	807	68					1,138	
依頼によるもの	件数	78	3,346	2,029	17			1									5,471
	項目	153	3,498	5,564	17			4									9,236
学校及び 事業所	件数			39				221	14	105			10	25	20	434	
	項目			39				1,391	121	266			10	35	40	1,902	
一般	件数		27	6			1			1	1		3			39	
	項目		27	18			1			12	11		16			85	
計	件数	104	9,958	2,301	17	228	523	339	26	9,232	640	35	13	25	87	23,804	
	項目	181	23,088	5,854	17	1,046	2,804	2,273	199	121,010	9,845	55	26	35	331	168,430	